

平成28年 第6回

教育委員会定例会会議録

平成28年6月8日

中央区教育委員会

平成28年第6回教育委員会定例会会議録

開会日時 平成28年6月8日(水) 午後2時00分  
場 所 中央区役所6階会議室  
出席委員 中央区教育委員会教育長 島田勝敏  
委 員 松川昭義  
委 員 窪木登志子  
委 員 小島エマ  
委 員 森田潤一

説明のために出席した事務局職員

次 長 高橋和義  
庶務課長 伊藤孝志  
学務課長 斎藤公一  
学校施設課長 星野一晃  
指導室長 吉野達雄  
副 参 事 猪瀬賢一  
統括指導主事 柄澤武志  
統括指導主事 尾上佐智子  
図書文化財課長 阿部志穂

説明のために出席した区長部局職員

スポーツ課長 森下康浩

書 記 中央区教育委員会事務局  
教育行政推進係長 鷲頭隆介  
教育行政推進係員 宮崎真里

開 議 午後2時00分島田教育長開会宣言

会議規則第30条による署名委員

教育長 島田勝敏  
委 員 松川昭義

日程第1 報告事項  
各課事業報告について

教育長           それでは、ただいまから、平成28年第6回教育委員会定例会を開会いたします。

                  初めに、本日の会議録署名委員をご指名いたします。本日は、松川委員、よろしく願い申し上げます。

                  それでは、本日の日程に入らせていただきます。

                  日程第1、報告事項のうち、1と2について報告を願います。

庶務課長       「平成28年度中央区教育行政概要」について、資料1により報告。

                  「子どもの居場所「プレディ」の利用状況」について、資料2により報告。

教育長         ただいまの報告について、ご質問等あれば、お願いいたします。

窪木委員       中央区教育行政概要ということでたくさんの施策があり、教育委員会の事務局、また現場の各学校、幼稚園も頑張っていらっしゃると思います。

                  2点質問します。

                  資料1の49ページの独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入について、以前にもご質問したことがあります。掛け金が少し高いのではないかという疑問があります。急ぎませんので、後日回答をいただければと思います。これが1点目です。

                  それからもう1点は、51ページの校務支援システムの運用についてお聞きします。校務支援システムは、校務の効率化を図り、先生方の負担を軽減するためのシステムと理解していますが、平成27年4月に運用を開始して、現状としてどのように利用されて効率化が図られているのか、それに対して事務局はどのような評価をしているのか、教えていただければと思います。

                  また、質問ではありませんが、私は仕事のとくに、大事なことや緊急性が高いものなどの課題を3つあげ、優先順位をつけて行っています。教育委員会にはいろいろな施策がありますが、3つの優先順位のリストをいつも心がけていただければと思います。以上です。

教育長         ありがとうございます。

学務課長       最初の質問でございます独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付金制度への加入の掛け金についてでございます。少しお時間をいただき、後日ご回答させていただきます。

                  2点目でございます。校務支援システムの運用についてでございます。このシステムの前段である学校間ネットワークは、平成22年度に整備し、運用を開始しました。平成22年度当時には、成績処理や時間割を作成するソフトなど単体のソフトは販売されていましたが、校務を総合的に支援するようなソフトというものは存在しませんでした。近年いろいろな業務を行うソフトが集約された校務支援ソフトが販売され始めたので、教育委員会と学校で検討し、平成27年4月から校務支援システムとして導入を図りました。

現在の利用状況としては、成績管理処理とか校務管理機能を利用して時間割の作成や時数の作成などを行っております。また、児童の身体測定などのデータの管理に保健管理機能を活用しています。複数の機能のデータを一括して管理できるようになりました。

校務支援システム導入の成果でございますが、平成27年8月12日から9月4日に先生方にアンケート調査行いました。校務支援システムを利用して、掲示板機能の利用により打ち合わせの時間の短縮ができた、情報の共有が図れた、個人情報の安全性が向上した等たくさんの利点が挙げられています。

校務支援システムを活用して、さらに効率化を図っていくことがこれからの課題だと考えています。以上でございます。

窪木委員  
教育長  
窪木委員  
教育長  
松川委員

ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

はい。

ほかにご質問ございますでしょうか。

今、ご説明いただいた校務支援システムのアンケートで、例えば、先生の勤務時間が短縮されて学校を出る時間が早くなったなど具体的な報告はあったのでしょうか。

学務課長

校務支援システムによってどのくらい勤務時間の短縮が図れたかというのは、総合的な勤務時間の中でのことです。ですから、検証ができないところでございますが、教員からの意見としては、時間短縮はかなり図れているということですから、その分、児童・生徒に対する時間がとれているという認識を私どもは持っております。

松川委員

常盤小学校は、国際教育のパイロット校として、英語の授業時数を増やすなどの取組により、児童の英語力はレベルアップが図られていると思います。

区立の中学校では、パイロット校で英語の力をつけてきた生徒も他の小学校で普通に学んできた生徒と一緒に基礎から学ぶことになるのか、英語教育について、小学校と中学校の連携は行われているのか、それについてどのように考えているのかということをお聞きします。

副参事

英語力につきましては、習い事や家庭環境など、英語に触れる機会がある児童もいますので、中学校に入学したときには差があるのが現状です。

そこで、小学校では、英語嫌いをつくらない、英語好きの子を育てていくことを目指しているところでございます。そのために、教師の授業力が重要だと考えておりますので、今年度から英語講師の派遣や夏休みに研修を実施する等小中学校の連携を考慮して教員の指導力向上に取り組んでいます。

中学校では、先生の指導力を上げるために研修も実施していますが、区費

の講師を活用した習熟度別での授業やティームティーチング、夏休みの補習学習など、中学校入学時の英語力の差を埋める取組を行っています。以上です。

松川委員 習熟度別ということは、今、小学校の算数で行っているような習熟度で3つぐらいのグループに分けた授業を中学校の英語でも行っているということでしょうか。

副参事 はい、そうです。

入学してすぐの1年生などは、単純に少人数に分け、各々の習熟度をはかっていくという期間もあります。

松川委員 区立中学校の英語の授業は、習熟度別の授業形態で行うということですか。

副参事 はい。全部の学校ではありませんが、習熟度別授業を行っています。

松川委員 もう一度確認しますが、常盤小学校はパイロット校としてかなりレベルを上げているということですね。

副参事 はい。

松川委員 ほかの学校と差があるという現状は、パイロット校が行った取組をほかの小学校にも広げていくという施策なので良いと思うのですが、パイロット校で英語力をしっかりつけた子どもが中学校に上がったときに、ほかの学校から進学してきた子と一緒にスタートでは、意欲を失ってしまうということはないのでしょうか。パイロット校で力をつけてきた子どもの指導について、小学校と中学校の連携をどのように考えているのでしょうか。

指導室長 習熟度別につきましては、副参事の答弁にあったように、学校の実態に応じて学校に任せているというのが現状でございます。

ただし、松川委員からご指摘いただいたように、課題としてとらえておりますので、習熟度別のスタイルの確立を進めていきたいと思っております。

小学校での英語教育は、学校によってはレベルがどんどん高くなっています。そうすると、中学校での勉強を先取りして、中学校の勉強がおもしろくないということにならないか、という松川委員のご指摘ですが、基本的に小学校と中学校の英語教育の内容はすみ分けしております。

小学校では、話すこと・聞くことを中心にしています。書くこと・読むことも行いますが、文法については中学校で勉強するという事で触れていません。小学校では、進んで話せるようになることを目指してレベルは高まりますが、文法は教えないということになっておりますので、中学校に入ったときに子どもたちがつまらないということがないように共通理解を図って、小学校・中学校の連携を考えております。以上です。

松川委員 興味のある子というのは、聞くこと・話すことから、読むこと・書くことにも興味を持ち、文法の領域にも入っていくのだろうと思います。中学校に

入ってから文法を学ぶ、小学校と中学校の学習内容の違いともあると思いますが、小学校と中学校の連携をしっかりと行った方が良いと思います。

私の考えですが、公立の学校というのは、レベルの底上げというのも大事ですが、興味のある子はもっと引き上げるという面に力を入れても良いのではないのでしょうか。小学校で一生懸命取り組んでいる理数教育や、国際教育について、その先の中学校につなげていく必要があると思います。

指導室長        ご指摘につきましては本当にそのとおりでございまして、2020年に学習指導要領が改訂されますが、その中で小学校の英語教育が見直されます。時数だけではなく、ご指摘にあったように、子どもたちの興味は、読むとか書くというところにもどんどん進んでいこうということで、次の改訂からは小学校にも読むこと・書くことが入ってまいります。そうなりますと、現段階よりも中学校での習熟度別の授業が、より必要になってきますので、そのシステムづくりを指導室で進めたいと思っています。ご指摘ありがとうございました。

小島委員        今回の英語教育のことですが、パイロット校での学習指導要領の内容を超えた取組というのは、授業の教材や指導要領など、中央区独自のものなのでしょうか。それとも、文部科学省からの指定を受けた教育課程特例校に共通するものなのでしょうか。

指導室長        学習指導要領を超える取組については、パイロット校である常盤小学校が独自に行っております。この取組につきましては、今後区内に広げていきたいと考えています。

小島委員        教材も独自に開発しているということですか。

指導室長        教材もそうですし、カリキュラムも含めて、独自の取組として進めているところがございます。

小島委員        ありがとうございました。

松川委員        今日、たまたま小学生新聞を見ていたら、安全科の授業という記事が出ていました。資料1の6ページにも安全教育の推進が主要施策として載っていますが、中央区の安全教育はどのようなものなのでしょうか。私の印象ですが、今、小学校は危険なものを排除して安全だと言っているように感じます。しかし、危険なものに対して、どう対処したら安全なのかを指導することが大切ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

指導室長        安全教育に関しましては、東京都から安全教育プログラムというものが教員一人一人に配られております。その安全教育プログラムをもとにした指導ですので、東京都内の公立学校で共通の内容で行われていると思います。

安全教育は安全指導と安全学習に分かれています。安全指導は避難訓練や宿泊防災訓練、部活動等の課外における安全指導などがあります。その中に

は、危険なものにどう対処したら安全なのかということも含まれています。松川委員のご指摘のとおり、危ない場面に遭遇したときに、どのように回避するか、危険を予知し、避ける力を育成するということが大きな狙いになっております。以上です。

教育長 ほかにご質問等ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 それでは、報告3から6についてお願いします。

指導室長 「平成28年度中央区立学校・幼稚園重点目標比較一覧」について、資料3により報告。

「平成28年度 全国学力・学習状況調査及び学習力サポートテストの実施の概要」について、資料4により報告。

「職員の誤教示に係る損害賠償」について、資料5により報告。

「平成28年度第1回中央区いじめ問題対策委員会の概要」について、資料6により報告。

教育長 報告3から6について、ご質問等ありましたら、よろしくお願いします。

(「なし」の声あり)

教育長 それでは、報告7についてお願いします。

図書館文化財課長 「子ども図書館員の実施」について、資料7により報告。

教育長 報告7について、ご質問等ございますでしょうか。

松川委員 各館24人ということですが、改修工事中の日本橋図書館分の24人について、今年度の募集はどのようになるのですか。

図書館文化財課長 日本橋図書館の分については京橋図書館の実施日を2日間とすることで対応いたします。8月3日に京橋図書館で実施するのが、日本橋図書館分の募集になります。住んでいる地域に関わらず、ご希望の日程・場所に応募していただくことができます。

京橋図書館で実施する日程では、7月20日は、京橋図書館、8月3日は日本橋図書館の職員が担当します。月島図書館での実施は月島図書館の職員が担当します。

教育長 ほかにご質問等ございませんか。

(「なし」の声あり)

教育長 それでは、報告8についてお願いします。

スポーツ課長 「第28回「区民スポーツの日」の実施」について、資料8により報告。

教育長 報告8について、ご質問等ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 それでは、報告9について説明をお願いいたします。

学務課長 「意見・要望」の1件目と4件目について、資料9により報告。

学校施設課長 「意見・要望」の2件目について、資料9により報告。  
図書文化財課長 「意見・要望」の3件目について、資料9により報告。  
教育長 以上4件につきまして、ご質問等ございますでしょうか。  
松川委員 4件目の4月28日の投書者が「格差があります」という表現をしていますが、私は中央区の区立小学校16校に差があるとは思っていません。国際教育や理数教育のパイロット校など、特色ある学校づくりをしているのであって、格差があるという表現をされているとすれば、事務局のほうで誤解のないように説明してもらいたいと思います。

指導室長 ご指摘のとおりだと思っております。事務局でも格差とは捉えておりません。松川委員のご意見の中にありましたように、特色ある教育活動は全ての学校で展開しておりますので、その点での違いであると捉えています。

教育長 よろしいですか。  
松川委員 はい。  
窪木委員 今の点について、「格差」という言葉ですが、教育の質の格差ではなく、阪本小学校は24人、豊海小学校は136人という、学年の人数の格差のことを言っているのかもしれないと思うので、後で元の投書を確認していただければと思います。

教育長 わかりました。それは後ほど確認させていただきます。  
松川委員 1件目の標準服の件ですが、私も明石小学校出身で、昭和20年代に入学しましたが、その当時から服装は自由でした。だから60年以上、明石小学校の服装は自由なんです。

教育長 ほかにご質問等ございませんか。  
(「なし」の声あり)

教育長 それでは、本日の日程は全て終了いたしました。委員の皆様方から何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。  
(「なし」の声あり)

教育長 よろしいでしょうか。  
それでは、これで本日の教育委員会を閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

午後3時00分 教育長閉会宣言

署名委員